

平成30年度 全国高等学校選抜自転車競技大会



< テクニカルガイド >

Ver.2019-0313

この資料は監督会議・役員打合せで使用しますので印刷してご持参ください。



(公財) 全国高体連自転車競技専門部

1 会 場

(1) 開会式

北九州メディアドーム アリーナ

〒802-0065 福岡県 北九州市小倉北区三萩野 3-1-1 TEL : 093-931-7337

(2) トラック競技

北九州メディアドーム

〒802-0065 福岡県 北九州市小倉北区三萩野 3-1-1 TEL : 093-931-7337

(3) ロード競技

道の駅子守唄の里を基点とする特設コース

〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲 2 6 7 2-5 4 TEL : 0966-37-2301

(4) 閉会式

道の駅子守唄の里特設ステージ (予定)

〒868-0201 熊本県球磨郡五木村甲 2 6 7 2-5 4 TEL : 0966-37-2301

2 ライセンスコントロール (受付)

(1) 選手・監督受付

日時 : 平成 31 年 3 月 21 日 (木) 8 : 30 ~ 9 : 20

場所 : 北九州メディアドーム 1F 西モール入口

〒802-0065 福岡県 北九州市小倉北区三萩野 3-1-1 TEL : 093-931-7337

- ア 各学校の監督は上記の時間帯・場所に選手の競技者ライセンスを持参し提出すること。
- イ 配布された ID カードにはライセンスを入れ、会場では常に携帯すること。
- ウ 選手変更・欠場申請書、引率責任者・監督・チームサポート変更申請書、プログラム記載事項訂正申請書、その他申請書類は全国高体連自転車専門部 HP からダウンロードし、選手受付時に提出すること。
また、大会期間中に欠場が生じる場合は、速やかに総務委員長に提出すること。
- エ 身体形態上の理由による適用免除の事前申請はしなくてよい。
- オ ロード競技のみに出場する学校も、選手受付・監督会議に出席すること。

(2) 配付物

- ア ID カード 選手のほか 2 名まで (引率責任者・監督・チームサポート) 発行する。
- イ プログラム 各校 2 部
- ウ ゼッケン
 - 男子 トラック : 黒文字×白生地 ロード : 黒文字×黄生地
 - 女子 トラック : 赤文字×白生地 ロード : 赤文字×黄生地
- エ ヘルメットシール (ロードのみ)
 - 男子 ロード : シール 2 枚 黒文字×黄生地 女子 ロード : シール 2 枚 赤文字×黄生地
- オ フレームプレート (ロードのみ)
 - 男子 ロード : 黒文字×黄プレート 女子 赤文字×黄プレート
- カ ロード用計測チップ ※レース終了後、直ちに大会本部まで返却のこと。紛失した場合は、実費請求する。

3 監督会議

日時：平成31年3月21日（木） 9：30～10：30

場所：北九州メディアドーム 1F 控室3・4 （バックストレッチ側に出入口あり）

※出場チーム監督の出席確認を行う。

4 開会式

日時：平成31年3月21日（木） 11：00～11：30

場所：北九州メディアドーム 1F アリーナ内特設ステージ

服装：都道府県又は学校統一のものとする。大会参加者（正選手）全員参加すること。

5 表彰式

（1）トラック競技

日時：競技日程参照 ※競技毎の表彰

場所：北九州メディアドーム 1F アリーナ内特設ステージ

集合：表彰を受ける選手は15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：入賞者は登録されたジャージ、入賞校は登録されたジャージまたは学校統一のウェアとする。その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとし、式典にふさわしい容姿で参加すること。

待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。（サンダル、サングラスの着用禁止）

学校対抗総合の優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。

表彰式には保護者・応援者も参加することができる。

（2）ロード競技

日時：平成31年3月24日（日） 14：00～

※ロード競技、総合成績の表彰の後、閉会式を行う。

場所：道の駅子守唄の里特設ステージ（予定）

集合：表彰を受ける選手、学校は15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：登録されたジャージとする。

待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。（サンダル、サングラスの着用禁止）

学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。

表彰式には保護者、応援者も参加することができる。

6 閉会式

日時：平成31年3月24日（日） 14：00～

※ロード競技、総合成績の表彰の後、閉会式を行う。

場所：道の駅子守唄の里特設ステージ（予定）

集合：15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：入賞者は登録されたジャージ、入賞校は登録されたジャージまたは学校統一のウェアとする。その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとする。

7 会場使用について

(1) トラック競技会場

- ア 大会期間中は、I Dカードの着用を義務づける。立入禁止区域には、絶対に入らないこと。
- イ アリーナ内は、選手控え場所として開放する。（保護者、応援者の立入りは禁止する）
※3/19（火）12:00より開放する。
- ウ アリーナ内の控えスペースはブロックで区割りを行う。お互い譲り合って使用すること。
通行の妨げにならないよう、一部フェンスを設置する。
- エ ドーム内の電源の使用は**厳禁**とする。コンプレッサー（発電機の使用の場合）は、施設外で行うこと。
- オ 女子の更衣については、バックスタンド下の控室5を解放する。
- カ ドーム内に張り出すチーム応援横断幕等は、観戦（特に、ホーム側スタンドからの観戦）の妨げにならないよう配慮すること。※設置可能な場所については調整中。
- キ 大会期間中、アリーナ内の控え場所に自転車、機材を置いて帰っても良いが、破損、紛失、盗難等については、すべて自己責任とする。
平成30年3月20日（火）夕方～24日（土）朝の間は、夜間を含め巡回警備を行うが、紛失等の責任は一切負わない。

(2) ロード競技会場

- ア コースの下見について
移動、ロード練習、コース下見等では、交通規則を遵守するとともにヘルメット着用を義務づける。引率責任者、監督は責任を持って指導すること。また、下見中の事故等のトラブルは、当事者同士で解決すること。選手間の接触・落車等による機材の破損についても、レース中の事故と同じ扱いとする。
- イ 下見中、レース中に関わらずゴミの投げ捨て等は**厳禁**とする。
- ウ 保管場所については、特に指定しないので各校の責任で保管すること。
- エ 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。

8 駐車場

(1) トラック競技会場

- ア 北九州メディアドーム前の「三萩野公園特設駐車場」を利用すること。
- イ 駐車する際は、HPより駐車証をダウンロードし、ダッシュボードの見える場所に置いておくこと。
- ウ 駐車中の事故、盗難等については、大会本部では一切の責任を負わない。

(2) ロード競技会場

- ア 道の駅子守唄の里周辺の指定（臨時を含む）駐車場を利用すること。コース、公道上への駐車はいかなる事情であっても許可しない。
- イ 駐車場の場所については、HP上で案内する。

9 トラック競技公式練習

(1) トラック競技公式練習時間については、下記の一覧の通り。

3/19,3/20 については、ブロック別と女子に区分する。

3/21～3/23 の指定練習の設定はない。

期 日	時間	練習時間	練習班
3月19日(火)	14:00～14:25	25 分	※25 分入替制
	14:30～14:55	25 分	※25 分入替制
	15:00～15:25	25 分	※25 分入替制
	15:30～15:55	25 分	※25 分入替制
	16:00～16:25	25 分	※25 分入替制
	16:30～16:55	25 分	女子のみ
3月20日(水)	13:00～13:25	25 分	北海道・東北・東海ブロック
	13:30～13:55	25 分	関東ブロック
	14:00～14:25	25 分	北信越・近畿ブロック
	14:30～14:55	25 分	中国・四国ブロック
	15:00～15:25	25 分	九州ブロック
	15:30～15:55	25 分	女子のみ

(2) 練習の際には、監督またはチームの責任者が、4 コーナー付近の入場エリア（ロールバック席の階段）より、選手とともに入場すること。

(3) 練習の入退場について

入場は 4 コーナー付近の入場エリア（ロールバック席の階段）より行い、退場は 2 コーナー付近の退場エリア（ロールバック席の階段）への一方通行とする。

※役員の指示に従って速やかに移動すること。また、指示があるまで乗車禁止とする。

(4) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、すべて自己責任とする。

(5) 練習中の事故、仮設物設置の準備等の進捗状況により、公式練習の開始時間が変更となる場合がある。

10 宿泊・昼食弁当・計画輸送

(1) 宿舎での注意事項

ア 貴重品管理は各校の責任とする。

イ 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。

ウ 宿舎内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。

エ 宿舎での自転車保管については、宿舎と調整すること。

※宿舎内での自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。

(2) 宿泊、弁当については、名鉄観光サービス（株）ブースを設置する。

弁当については、弁当引換券と交換とし、弁当の空き容器の回収は、14：00 までとする。

ア トラック会場

3月19日(火)～23日(日) 11：00～12：30

配布場所：北九州メディアドーム アリーナ内 名鉄観光サービス（株）特設ブース

イ ロード会場

3月24日（日）10：00～11：30

配布場所：道の駅子守唄の里五木 大会本部前

※3月23日（土）に五木村で弁当を受取希望のチームは、その旨をエージェン트에連絡すること。

（3）主催者側での計画輸送は行わない。また、宿舎から会場までの所要時間等は、宿泊の案内を参照すること。

11 医療機関

（1）事故等により医療機関へ行く場合は、「健康保険証」（コピー不可）を必ず持参し、関係者が同行すること。

（2）怪我等で医務室にて受診した際は、医務室に備えている受診表に記入すること。

（3）医療機関

＜トラック会場＞

三萩野病院

〒802-0065 福岡県北九州市小倉北区三萩野1丁目12-18 TEL：093-931-7931

＜ロード会場＞

地域医療機能推進機構人吉医療センター

〒868-8555 熊本県人吉市老神町35 TEL 0966-22-2191

※宿舎での傷病については、宿泊先にお問い合わせ下さい。受診後は総務委員長まで連絡をお願いします。

12 荷物輸送について

（1）荷物を送る場合は、事前に宿舎と調整すること。

（2）競技会場（ロード・トラック会場共に）での、荷物の受取り、保管等は一切行わない。

（3）競技終了後の荷送りについては、下記の通り対応する。

＜トラック会場＞

＜ロード会場＞

※現在調整中につき、監督会議の際にコミュニケで連絡します。

全国高体連自転車競技専門部は、シクロエクスプレスよりご協賛を頂いております。

往復の自転車輸送については、出来る限り「シクロエクスプレス」をご利用ください。

HP アドレス <http://cycloexpress.co.jp/>

（4）荷物の引き渡しは当事者間で直接行うこと。大会本部で受付や荷物を預かることはありません。

13 問合先

（1）選抜大会に関する情報・連絡事項は「全国高体連自転車専門部HP」にて確認すること。

<http://www.hs-cycling.com/>

（2）選抜オープニングロードレースに関する情報は下記サイト（SNS）にて確認すること。

■熊本県自転車競技連盟 公式 HP

→ <http://kumamoto-cf.jp/>

■熊本県自転車競技連盟 公式 Facebook

→ <https://www.facebook.com/kumamotocf/>

■熊本県自転車競技連盟 公式 line

→ 右の QR コード



(3) 連絡先

大会本部 全国高等学校選抜自転車競技大会実行委員会事務局 携帯：070-1943-4166（中田）

宿泊関係 名鉄観光サービス（トラック・ロード共通）TEL：096-354-4351（吉田・櫻木・堀川）

01 競技運営

(1) 競技規則

(公財) 日本自転車競技連盟競技規則 2018 年版および大会特別規則に則り競技を実施する。

(2) 主要競技役員

競技運営委員長 : 中梶 秀則

総務委員長 : 河田 拓也

コミセールパネル : 岡本 健 (審判長), 高畑 秀規, 寺崎 豪紀, 坂井田 米治, 山崎 隆明

02 大会特別規則 (競技運営確認事項)

(1) 記録の配信

ア スタートリスト, リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布しない。

イ すべてのコミュニケは L I N E にて配信する。



ウ リザルトは, 大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は, プログラムに掲載する。

(2) ヘルメット

ア 選手は J C F 公認および J K A 認定 (競輪用) ヘルメットを練習時も含め使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット, 劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。

イ あごひもが緩んでいる状態での使用は認めない。(指二本が入る程度)

ウ J C F 公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は, 下記の種目の競技時のみ使用を認める。

①スプリント予選 (200mタイムトライアル) ②男女タイムトライアル

③男女インディヴィデュアル・パーシュート

(3) ヘルメットカバー

ア トラック・レースの ケイリン, ポイント・レース, スクラッチで使用する のでヘルメットカバーを装着することができるヘルメットを準備すること。大会特別規則

イ 上記種目については マグネット等で装着するシールドの使用は禁止する。大会特別規則

ウ トラック・レースのヘルメットカバー配付は招集所で行う。回収についてはバック側ギア比チェック場所付近に回収かごを設置する。

(4) ボディ・ナンバー (ゼッケン) 装着方法

ア 男女タイムトライアル・男女インディヴィデュアル・パーシュートについては 1 枚でもよい。1 枚の場合は腰部中央に取り付ける。

それ以外の種目については 5 c m 以上の間隔を空け, 後方から読み取れる状態で 2 枚腰部に付けること。

- イ スプリントは予選から2枚付けること。
- ウ ゼッケンは折り曲げたり切ったりしてはならない。
- エ ロード・レースでは、フレームプレートは右側から確認できるように装着する。
- オ ロード・レースでは男女ともヘルメット左右の側面に番号シールを装着する。

男子：黒文字×黄生地 女子：赤文字×黄生地

(5) ギア比制限

U 17 のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアの数値 (7.93m) を適用する。**大会特別規則**

(6) 映像記録装置

装着を認めない。**大会特別規則**

(7) ハイソックス

ハイソックスを着用する場合は、長さの上限をすねの中間とする。すねの長さとは脛骨点と内果点を結ぶ線をもって定義する。(UCI 技術規則の明確化ガイドの適用)

03 トラック・レース

(1) 禁止事項

- ア 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることおよびレーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- イ 指定されたエリア以外での選手ピット設営は禁止する。

(2) 走路入退場方法（選手・監督等）

レース中の入場はホーム側ロールバック席、退場はバック側ロールバック席とする。（一方通行）

(3) 招集・自転車検査

- ア 招集・自転車検査所はホーム側ロールバック席付近に設置し、出走および装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- イ 招集および自転車検査は各自の出走予定時刻の15分前までに完了させること。
- ウ 検車エリアからピット側へ出た自転車は、再入場時であっても自転車検査の対象となる。
- エ 競技終了後、指示を受けた競技者は、退場口付近安全地帯でギア比検査を受けること。

(4) スタート方法

- ア スタートに間に合わない場合は、出走することができない。スペアホイールや工具等を必ず準備しておくこと。
- イ 発走機（スターティング・マシーン）使用種目
男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュート
- ウ ホルダー
発走機を使わない種目は、各チームのスタッフがホルダーを務める。その際、選手が有利になることを目的として前方へ押し出さないこと。
- エ ポイント・レースおよびスクラッチ
スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置につく。ヘルメットカバー番号奇数の選手がインレーン、偶数の選手がアウトレーンとし、ヘルメットカバーが1番の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。

S / Fライン												
⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐①	インレーン	
先着順												
⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	⇐	アウトレーン	

(5) タイムトライアル

欠場者及び機材トラブルなどの理由から同じ組の選手が出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(6) インディヴィデュアル・パースhoot

ア 予選の上位 1・2 位で決勝戦，3・4 位で 3 - 4 位決定戦を行う。また，予選のタイムにより 5 位以下を決定する。

イ 予選では追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。

(7) ケイリン

ア ペーサはスプリンター・ラインの内側を走り，スタート時は 30 km/h，フィニッシュ 2 周前のフィニッシュ・ラインを過ぎてトラックを離れるまでに，徐々に 50 km/h まで加速する。

女子のそれぞれの速度は 25km/h と 45km/h とする。大会特別規則

イ 一人または複数の競技者が，ペーサがフィニッシュ・ラインにおいてトラックを離れる前にペーサの前輪前端を追い抜いた場合，競技を停止し，失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。大会特別規則

ウ ペーサがトラックを離れた後は最終スプリント状態とみなすので，各競技者はフィニッシュ・ラインまで各自の走行ラインを保持しなくてはならない。競技規則 6 6 条 1 0 の運用

(8) スクラッチ

男子は予選 6 k m，決勝 8 k m，女子は予選 4 k m，決勝 6 k mで実施する。

(9) ポイント・レース

予選 12 k m，決勝 24 k mで実施する。

(10) 勝ち上がり方法

ア スプリント

予選はタイム上位 1 2 名を勝ち上がりとして選出する。競技順は 1 / 8 決勝，1 / 8 決勝敗者復活戦，1 / 4 決勝（以後 5 - 8 位決定戦以外 2 回戦制），1 / 2 決勝，順位決定戦とする。

大会特別規則

イ ポイント・レース

各組予選（組数 3）より上位 8 名を選出し，決勝（2 4 名）を行う。

ウ ケイリン

組数・人数，勝ち上がり方法は以下の通りとする。

【男子】1 回戦（4 8 名）：6 組（6 ～ 7 名）上位 1 名は 1/2 決勝へ

1 回戦敗者復活戦（4 1 名）：6 組（5 ～ 6 名）上位 1 名は 1/2 決勝へ

1/2 決勝（1 2 名）：2 組（6 名）上位 3 名は 1-6 位決定戦へ，下位 3 名は 7-12 位

決定戦へ

1-6 位決定戦（6 名）・7-12 位決定戦（6 名）

【女子】1 回戦（24 名）：4 組（6 名）上位 2 名は 1/2 決勝へ

1 回戦敗者復活戦（16 名）：4 組（4 名）上位 1 名は 1/2 決勝へ

1/2 決勝（12 名）：2 組（6 名）上位 3 名は 1-6 位決定戦へ、下位 3 名は 7-12 位決定戦へ

1-6 位決定戦（6 名）・7-12 位決定戦（6 名）

エ スクラッチ

【男子】各組予選（組数 5）より上位 4 名を選出し、決勝（20 名）を行う。

【女子】各組予選（組数 2）より上位 7 名を選出し、決勝（14 名）を行う。

（11）フィールド内での指示

ア タイムトライアルとインディヴィデュアル・パーシュートについてはスタートライン付近に 1 名のみ認める。

イ その他の種目についてはバック側インフィールドの指定場所にいずれも選手 1 名につき 1 名を認める。

その際には主催者が準備したビブスを着用すること。

04 ロード・レース

（1）計測チップの配布および予備登録選手への変更

ア 日時：3 月 23 日（土）14：00～16：30

イ 場所：道の駅 子守唄の里 五木 大会本部テント

（2）招集・自転車検査

ア 日時：3 月 24 日（日） 女子 9：00～10：00 男子 10：00～11：00

イ 場所：道の駅 子守唄の里 五木 大会本部テント

ウ 要領：招集所で装備の確認と自転車の検査・計測チップの検査と動作テストを受けサイン・シートにフルネームで氏名を記入する。自転車検査を受けた後のポジション変更や調整はしないこと。ギア比チェックは上位完走者を対象にフィニッシュ後実施する。

（3）スタート時刻

女子 10：20 男子 11：30（選手は 20 分前に待機所整列）

（4）スタート位置

男子は前年度の選抜大会、本年度の全国高校総体・国体の上位入賞選手を、女子は前年度の選抜大会、本年度の全国高校総体・都道府県大会の上位入賞選手をシード選手として最前列に位置する。その後方には開催地競技者とし、その他の競技者は 3 列目以降抽選順とする。

【男子シード選手】①H29 年度選抜 0 名 ②H30 年度全国総体 1 名 ③H30 年度国体 2 名

# 1 川崎 三織 (栄北)	# 2 岩田 聖矢 (榛生昇陽)	# 3 津田 悠義 (三好)
-------------------	---------------------	-------------------

【女子シード選手】①H29 年度選抜 2 名 ②H30 年度全国総体 1（2）名 ③都道府県 1 名

# 1 内野 艶和 (祐誠)	# 2 阿南 里奈 (別府翔青)	# 3 渡部 春雅 (駒大高)	# 4 飯田 風音 (川越工)
-------------------	---------------------	--------------------	--------------------

(5) 距離およびスタート方式

【女子】 6.9 km×5 周回 34.5 km

【男子】 6.9 km×4 周回+10.4 km×5 周回 79.6 km

完全に交通規制された周回コースで実施するが、スタート直後、大会運営上の理由により集団をコントロールする場合がある。

(6) 補給所

ア 補給エリア

フィニッシュ地点手前の左側のみ認める。補給エリアの始点および終点は看板により明示する。

イ 補給員数

人数は各学校の参加選手を上限とし、補給員は I D カードを必ず着用のこと。

ウ 飲食物の補給

女子については認めない。男子については、7、8 周回目（残り 2 周、1 周直前）とする。

エ 投棄エリア（グリーンゾーン）

補給エリアの前後左側に設定する。

(7) 打ち切り

ア 関門所：フィニッシュ地点に関門所を設置する。

イ 運用：

① 上部エリアコース競技時

8 位を含む集団より下記制限時間内にスタート／フィニッシュ地点を通過できない場合は競技から除外する。

1 周目通過時：2 分、2 周目通過時：3 分、3～4 周目通過時：4 分

② 下部エリア活用コース競技時

8 位を含む集団より 5 分内にスタート／フィニッシュ地点及び五木源パークを通過できない場合は競技から除外する。ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。

失格となった競技者は、ボディ・ナンバー 1 枚、計測チップを外し、関門審判員に渡す。

(8) 機材サポートとインフォメーション

ア ニュートラルカー、ニュートラルバイク、ブラックボード（B B）バイクを主催者で準備する。台数については監督会議で連絡する。

イ コースの特性上、地上からも競技役員が B B 業務を実施する。場所については監督会議で連絡する。

ウ リアホイールはシマノ 11 速のみ用意している。

エ 提供を受けた機材は、招集・自転車検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

(9) 計測チップの返却

ア 日時：3 月 24 日（日）レース終了後

イ 場所：道の駅 子守唄の里 五木 大会本部テント

ウ その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費を請求する。